

平成 24 年 3 月 29 日

長瀨町観光協会

「飛躍的に向上した長瀨町の外国人向け観光案内」

～外国人観光客に優しい観光地としての取組み～

期 日： 3 月 2 9 日（木） 午前 1 1 時～

会 場： 長瀨町観光情報館 2 階会議室

出席者： 長瀨町長 大澤 芳夫
(社)長瀨町観光協会 会長 村田 穰
(社)長瀨町観光協会 専務理事 古澤 宏司

(事業推進に当たっての関係者の皆様)

国土交通省関東運輸局企画観光部長

橋本 亮二 様

国土交通省関東運輸局企画観光部国際観光課長

近藤 光則 様

埼玉県秩父地域振興センター所長

柳 繁夫 様

長瀨町は、国土交通省関東運輸局が実施する「外国人旅行者の移動容易化のための言語バリアフリー化調査」事業の埼玉県における主要な対象地域として、このたび、外国人用観光パンフレットの作成や町内各所の観光施設への多言語（5カ国語）案内看板の整備を行なうなどの、外国人観光客向けの案内サービスを向上させる各種事業を実施することができましたので、外国人観光客への対応が飛躍的に向上することが期待できます。

1. 直感的な表示と音声の出るペンが使える観光パンフレット

今回作成した外国人旅行者向けパンフレットは、直感的に距離や方向、施設の内容等を理解できるように、地図のスケールを大切に、ピクトグラム等を多用して編集しています。また、言葉によるサービスも可能にするため、特殊加工を施し、観光案内所で貸し出す専用ペンでタッチすると音声で観光案内（5カ国語）を行うこともできます。また、案内所カウンターには、頻度の高い質問を想定した外国語音声問答集も用意しました。



5カ国語を用意



専用ペンで音声観光案内



案内所カウンター用

2. ピクトグラムと多言語で表示した案内看板の設置

（透かしQRコードによりスマートフォンなどで音声案内を聞くことができます）

今回、長瀬の看板は外国人にはわかりにくい、との事前評価があったため、改善のため、5カ国語表示の観光案内看板を25カ所ほど設置しました。また、この看板類には透かしQRコードを取り付け、携帯電話やスマートフォンで読み取ると、音声（5カ国語）で道案内や観光施設の案内を行うことができます。（各自のスマートフォンに透かしQRコードから音声案内するのは世界初導入です）

音声例 【岩畳】長瀬岩畳です。国の天然記念物。荒川沿いに幅80m、長さ500mにわたって岩石が露出しています。畳を一面に敷きつめたように見えることから岩畳とよばれています。地殻変動や川の浸食によってできた自然の造形美を見て楽しめます。春にはユキヤナギやフジの花が咲きます。



多言語看板タイプ1



多言語看板タイプ2



透かしQRコード

3. さらに進化した指差し会話集の作成

言葉がしゃべれなくても外国人とコミュニケーションのとれる指差し会話集を作成。イラストなどを取り入れ、従来よりも内容を向上させた指差し会話集を作成しました。



指差し会話集



指差し会話集中面

4. タブレットや大型モニターによる観光案内

観光案内所では、より詳細な外国人旅行者の案内ニーズに応えるため、iPad や55インチ大型モニターを利用した観光案内も行えるようになりました。いずれも5カ国語に対応しています。

*5カ国語は、日本語・英語・韓国語・中国語簡体（本土）・中国語繁体（台湾）




iPad を使用した観光案内



大型モニターで長瀬紹介

5. 外国人に親切的な「シンボルマーク」の設定

外国人が長瀬で親切的な観光サービスを受けられるシンボルとして

「にこにこウエルカムマーク」(仮称)を設定し、外国人観光客に優しい観光地としての取組みをアピールしてまいります。